

【⑦本事業終了後における実績値 事業効果】	◎・・・本事業は地方創生に非常に効果的であった(実績が目標値を上回った) ○・・・本事業は地方創生に相当程度効果があった(目標値を上回ることにはなかったものの目標値を相当程度(7割～8割)達成) △・・・本事業は地方創生に効果があった(目標値を上回ることにはなかったものの事業開始前よりも改善したなど) ×・・・本事業は地方創生に対して効果がなかった(実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなど)
【⑧外部有識者からの評価 事業の評価】	○・・・本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった ×・・・本事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった
【⑨実績値を踏まえた事業の今後について 今後の方針】	①・・・事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる ②・・・事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った) ③・・・特に見直しをせず事業を継続する ④・・・継続的な事業実施を予定していたが中止する(または、した) ⑤・・・当初予定通り事業を終了した

総合戦略の進捗状況					No	① 交付金名	② 交付対象事業 の名称	③ 主な事業実績	④ 事業担当部署 (実施計画)	⑤ 実績額 単位:円	⑥ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑦ 本事業終了後における 実績値		⑧ 外部評価		⑨ 実績値を踏まえた事業の今後 について				
基本 目標	KPI	2020 目標	2020 実績	進捗 状況							指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業 効果	事業の 評価	外部有識者からの意見	今後の 方針	今後の方針の理 由			
基本目標Ⅰ「とうみ」において安定した雇用を創出する	製造品出荷額等に対する粗付加価値額【工業統計調査】 506億9,505万円(2018年)⇒512億(2024年)	507億9604万円	365億1807万円	△	1	地方創生拠点整備交付金(H30繰越・H31)	地ビール製造工場大規模改修事業 事業主体:信州東御市振興公社	企画振興課 企画政策係	549,555,000	指標① 自社醸造量(全体)	405,400	ℓ	R3.3	396,747	○	○	・コロナ禍の中でも醸造・販売は順調にできたと判断できる。今後は、さらに知名度の向上を図る工夫をしていきたい。	③	地ビールをはじめとする地域資源、ひいては東御市そのものの更なる知名度向上を図れるよう、取り組んでまいります。	企画振興課			
	製造業従事者数【工業統計調査】 3,466人(2017年)⇒現状値維持(2024年)	3,466人	3,313人	○						指標② 複合施設(地ビール工場及びワイン&ピアニウム)来場者数	19,299	人	R3.3	6,341	△	×	・コロナ禍の中で、来場を増やすことは困難であったと判断できる。他方で本年度は、近隣住民やターゲットを絞った事業展開、直接来場のみならずオンラインでの紹介(動画作成を含む)等の工夫も検討していきたい。	②	オンラインセミナーの開催や、県内在住者をターゲットとしたイベント開催をしたので、今後も引き続き実施したいと考えております。		6次産業化推進室		
										指標③ 地ビール売上高	282,490	千円	R3.3	269,360	○	○	・指標①と同様	③	指標①と同様			企画振興課	
	20～39歳の社会増減数【東御市人口ビジョン】 9人(2018年)⇒現状値維持(2024年)	9人	12人	◎	2	地方創生推進交付金(2020年度開始事業)	ICTを活用した東御市プランディング推進事業(R2～R4)	事業者の販売口づくり、公式オンラインショップ開設、地域商社機能構築、デジタル人材育成 企画振興課 企画政策係	6,445,740	指標① 公式オンラインショップによる販売額	0	千円	R3.3	1,805	◎	○	・コロナ禍において企業側の要望も大きかったと判断できる。今後は未導入の企業への情報周知や既に導入した企業へのフォローアップ・販路拡大等の支援も検討していきたい。	③	更なるEC導入促進のための情報発信に取組むとともに、ECスキルアップのセミナーを開催する等、導入後の支援にも取り組んでまいります。	企画振興課			
										指標② 市内事業者電子商取引(EC)実施事業所数(ECセミナーを通じて)	3	事業所	R3.3	11	◎	○							教育課
										指標③ 子ども向けプログラミングイベント参加者数	100	人	R3.3	0	△	×	・コロナ禍の中で、直接参加を求めることは困難であったと判断できる。単に事業を中止するという手段のみならず、対面教室のみならずオンラインでの紹介(動画作成を含む)等も検討していきたい。	②	コロナ禍の影響もあることから、各学校ごと教員向けのプログラミング研修を実施し、イベントについては改めて検討いたします。				

総合戦略の進捗状況					No	①	②	③	④	⑤	⑥				⑦		⑧		⑨			
基本目標	KPI	2020目標	2020実績	進捗状況		交付金名	交付対象事業の名称	主な事業実績	事業担当部署(実施計画)	実績額	本事業における重要業績評価指標(KPI)				本事業終了後における実績値		外部評価		実績値を踏まえた事業の今後について			
					単位:円	指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由							
基本目標Ⅱ「とうみ」への新しいひとの流れをつくる	市内就業者数【国勢調査】 15,317人(2015年)⇒15,000人(2025年)	15,254人	-	-	3	地方創生推進交付金(2017年度開始事業)	イベント開催事業、プロモーション活動事業	文化・スポーツ振興課 スポーツ係	8,309,752	指標①	湯の丸高原観光入込客数	640,600	人	R3.3	301,600	△	×	・観光客減であっても観光消費額を増加させる、SNS等の閲覧者数を増加させるといった工夫を期待したい。	②	after・withコロナにおける新たな人流れを生む観光コンテンツの整備及び多言語化などの整備とともに、誘客のプロモーションの努めてまいります。	商工観光課	
					4	地方創生拠点整備交付金(H28繰越・H29)	湯の丸ツーリズムプロジェクト推進事業(H28～H33)		湯の丸自然学習センター改修、湯の丸高原森林ジョギングコース・トレイルランコース整備、プロモーション事業	193,039,200	指標②	湯の丸高原観光消費額	1,678,049	千円	R3.3	765,940	△		×	②	団体旅行から個人旅行へのニーズを捉え、観光メニューの掘り起こしとともに滞在型観光の推進を図り、観光消費単価の向上に努めます。	商工観光課
					5	地方創生拠点整備交付金(H29)			湯の丸高原荘改修	219,829,040	指標③	湯の丸高原荘利用者数	5,400	人	R3.3	5,677	◎		○	①	・コロナ禍においてもターゲットが絞られたことがKPI達成につながったと考えられる。上記の指標①や②を改善するための手段を検討する際にも参考としていただきたい。	商工観光課
	市内20～30歳代の就業割合【国勢調査から算出】 30.06%(2015年)⇒現状値維持(2025年)	30.06%	-	-	-	6	地方創生拠点整備交付金(H29繰越・H30)	「ワイン&ビア・ミュージアム」整備による農業農村活性化施設リノベーション事業(H30～H34)	商工観光課 観光係	175,975,200	指標①	ワイン&ビア・ミュージアム来場者数	8,900	人	R3.3	6,548	○	○	・コロナ禍の中で、来場を増やすことは困難な中での数値と理解している。No.4の事業と同様、近隣住民やターゲットを絞って実施すること、直接来場のみならずオンラインでの紹介(動画作成を含む)等の工夫も検討していきたい。	②	オンラインセミナーの開催や、県内在住者をターゲットとしたイベント開催をしたので、今後も引き続き実施したいと考えております。	6次産業化推進室
											指標②	ワイン&ビア・ミュージアムに関する観光消費額	6,600	千円	R3.3	1,983	△	×		②	・来場者数6,548人に対し観光消費額が1,983千円であり、そこまでお金を使われていないように見受けられる。近隣の人がお金を使って行ってみてほしいと思ってもらえることもできることとして目を向けてほしい。 ・コロナ禍の中で、来場者数を増やすことは困難な中での数値と理解しているが、来場者数に比して数値が低い。マーケティング戦略を練っていただきたい。	6次産業化推進室
	社会増減数【東御市人口ビジョン】 △34人(2018年)⇒75人(2024年)	△12人	27人	◎	◎	7	地方創生拠点整備交付金(H30繰越・H31)	東御市湯の丸高原スポーツ交流施設魅力アップ事業	文化・スポーツ振興課 スポーツ係	73,785,000	指標①	湯の丸高原荘男女合同宿泊数	1,700	泊	R3.3	5,531	◎	○	・コロナ禍においてもターゲットが絞られたことがKPI達成につながったと考えられる。下記の指標②や③を改善するための手段を検討する際の参考としていただきたい。	①	スポーツ誘客はコロナ過においても一定の需要があることが明らかになったため、宿泊機能の充実強化を図る。	文化・スポーツ振興課
											指標②	湯の丸高原スポーツ交流施設利用者数(追加分)	1,700	人	R3.3	-487	△	×		②	2か月間の休館、その後の移動制限などの外的要因に耐える運営方法を模索する。	文化・スポーツ振興課
											指標③	湯の丸高原観光消費額(追加分)	6,800	千円	R3.3	-642,050	△	×		②	・コロナ禍が続くことを踏まえて、ターゲットを絞った運営など、工夫を期待したい。	商工観光課
	ふるさと納税者数【東御市企画振興課集計】 8,549人(件)(2018年)⇒23,000人(件)(2024年)	11,439人	27,064人	◎	◎	8	地方創生推進交付金(2019年度開始事業)	湯の丸高原スポーツ交流施設特設プール機能強化事業(R1～R5)	文化・スポーツ振興課 スポーツ係	49,361,026	指標①	屋内運動施設(特設プール)利用者数	3,000	人	R3.3	7,751	◎	○	・コロナ禍においてもターゲットが絞られたことがKPI達成につながったと考えられる。下記の指標②や③を改善するための手段を検討する際の参考としていただきたい。	①		文化・スポーツ振興課
											指標②	湯の丸高原入込客数	561,700	人	R3.3	301,600	△	×		②	after・withコロナにおける新たな人流れを生む観光コンテンツの整備及び多言語化などの整備とともに、誘客のプロモーションの努めてまいります。	商工観光課
											指標③	湯の丸高原観光消費額(年ベース)	1,165,265	千円	R3.3	765,940	△	×		②	・コロナ禍が続くことを踏まえて、ターゲットを絞った運営など、工夫を期待したい。	商工観光課

総合戦略の進捗状況					No	①	②	③	④	⑤	⑥				⑦		⑧		⑨						
基本目標	KPI	2020目標	2020実績	進捗状況		交付金名	交付対象事業の名称	主な事業実績	事業担当部署(実施計画)	実績額	本事業における重要業績評価指標(KPI)				本事業終了後における実績値		外部評価		実績値を踏まえた事業の今後について						
						単位:円	指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由									
基本目標Ⅳ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域の連携を図る	東御市に対する評価(住みよさランキング) 【東洋経済 都市データパック】 223位(2019年)⇒223位以上(2024年)	223位	413位	×	9	地方創生拠点整備交付金(H29)	旧庁舎を利用した地域コミュニティの活動拠点整備事業(H29～H33)	北御牧庁舎市民交流サロン整備事業	地域づくり・移住定住支援室	32,382,720	指標①	市民交流センターの年間利用者数	7,560	人	R3.3	1,301	△	×	・感染対策に留意しつつ(混雑状況がネットからわかる等)、幅広い利用がなされるような工夫を期待したい。	③	感染対策を図りながら実施可能な事業を展開します。	地域づくり・移住定住支援室			
											指標②	地域ビジョンの将来像を実現するための新たに始めた事業数	(累計3)	事業	R3.3	(累計3)	○	○		・事業の内容についても、わかりやすく発信していただきたい。	③	地域ビジョンの進捗管理を行い将来像の実現に向け事業を展開します。	地域づくり・移住定住支援室		
											指標③	北御牧地区への県外からの転入者数(人)	(累計188)	50	人	R3.3	30(累計116)	△		○	・県外者にとっては、北御牧地区もなじみがないと考えられる。同地区をはじめ、情報発信も積極的に行っていただきたい。	②	空き家や移住体験施設を整備し移住を促進します。	地域づくり・移住定住支援室	
	東御市は住みよいと感じる市民の割合 【東御市まちづくりアンケート】 80.0%(2018年)⇒85%(2024年)	81.0%	-	-	-	10	地方創生拠点整備交付金(H30繰越・H31)	官民一体となった健康づくりプラットフォーム整備のための健康増進施設リノベーション事業	ゆうふるtanakaプールエリア等改修工事(実施設計監理、改修工事)	商工観光課 観光係	79,783,000	指標①	入館者数	236,000	人	R3.3	165,039	○	○	・感染対策に留意しつつ事業展開していただきたい。	③	基本的な感染症対策を行いながら、今後も施設の維持・管理を行うため経費の削減等に向けた取り組みやコロナ禍における誘客のための事業を引き続き実施、検討してまいります。	③	エリアマネジメント運営会議による情報発信を強化し、コロナ対策を徹底し来訪・来館者を確保します。	商工観光課
												指標②	エクササイズ・スタジオ、トレーニングジム延べ利用者数	67,000	人	R3.3	38,556	△	○						
												指標③	中心市街地・歩行者数(5、7、10、2月の第1金曜日の8:00～18:00平均歩行者数 定点測定)	430	人	R3.3	260	△	○						
	地域づくり協議会が主催する地域づくり活動への参加者数 【東御市地域づくり移住定住支援室集計】 445人(2018年)⇒670人(2024年)	490人	57人	×	11	地方創生推進交付金(2019年度開始事業)	「芸術むら公園」を拠点とした、地域と協働でつくる芸術・文化による賑わい創出事業(R1～R3)	エリアマネジメント会議運営事業、アートイベント再構築事業	地域づくり・移住定住支援室	3,240,000	指標①	芸術むら公園の来訪者数(地域の賑わいづくりの契機となる指標)	83,400	人	R3.3	55,760	△	○	・コロナ禍での数値ではあるが、近隣住民なども利用したいと考えるような施設運営や、SNS発信・動画作成等を通じた情報発信も積極的に行っていただきたい。	②	エリアマネジメント運営会議による情報発信を強化し、コロナ対策を徹底し来訪・来館者を確保します。	地域づくり・移住定住支援室			
											指標②	芸術むら公園内の美術館(梅野記念絵画館)の入館者数	8,118	人	R3.3	2,556	△	○							
											指標③	芸術むら公園内の明神館(宿泊・日帰り温泉施設)の入館者数	79,824	人	R3.3	54,454	△	○							
											指標④	火のアートフェスティバル及び天空の芸術祭の来訪者数	46,479	人	R3.3	0	△	×					・事業を実施していないため。	②	感染対策を徹底し実施可能なイベントを開催します。